



会津放射能情報センター NEWS

住所：〒965-0877 福島県会津若松市西栄町 8-36 Tel & Fax：0242-23-9401
開館日：水木金曜 10 時～16 時 第 1, 3 土曜 10 時～12 時（国民の休日は除く）
E-mail：info@aizu-center.org 公式 blog：http://ameblo.jp/mamorukai-aizu/
Web：https://aizu-center.org



2023 年 3 月 31 日発行

第 42 号

会津放射能情報センター

検索

子どもを風評被害対策に利用しないで！ 会津放射能情報センター代表 片岡輝美

「情報開示の鬼」と呼ばれる野池元基さん（長野市在住）は官公庁や福島県などの自治体に対して、東電福島第一原発核事故に掛かる文書の開示請求を行い、広告代理店や学者らによる広報事業の実態を明らかにしてきました。（はっぴーあいらんど☆ネットワークの動画『情報公開の鬼シリーズ』をご覧ください）。

その一つが「ALPS 処理水並びに福島県及びその近隣県の水産物の安全性等に関する理解醸成に向けた出前食育活動等事業」。これは昨年 9 月末に経産省が博報堂に 1 億円で委託した事業で、漁業者と連携して福島県沖や近隣県沖でとれた水産物を県内小中学校の給食食材に提供し「ALPS 処理水」の安全性をアピールするもの。つまり小中学生が風評被害対策の『広告塔』として利用されようとしたのです。

野池さんから「まだこの事業を受け入れた自治体はないらしい」との情報を受け、2018 年、モニタリングポストの継続を求めた市民の会で共同代表を務めた鈴木真理さん、千葉ゆみさんと私は「今ならまだ止められるかもしれない！」と福島県内の教育委員会に手分けして電話をかけることにしました。

2 月 6 日の 1 日をかけて 59 市町村全てに、経産省または福島県教育委員会からこの事業の知らせを受けたか、この事業を実施する予定はあるかの聴き取り調査を行い、その結果、知らせを受けたのは 7 自治体、そのうち学校へ案内したが、応募がなかったのは 2 自治体、自治体として検討したが不参加を決定したのは 4 自治体、残り 1 自治体が検討中であることが分かりました。

この事業の窓口である公益財団法人原子力安全研究会にも進捗状況を尋ねてみると、「苦戦しています…」との回答でした。つまり教育の現場に「ALPS 処理水」の理解醸成を持ち込む国の有り様に、自治体や学校としては慎重な対応、または「本市の姿勢は本事業の趣旨にそぐわない」といわき市長自らが経産省へ回答したように明確な反対が示されていたのです。私が電話したある給食センター職員は「（本自治体は）予算を組み、年間を通して信頼出来る業者さんから購入しているんです」と応答。その背後

には年度途中で無茶を通そうとする国への批判があるように感じました。

そしてその日の夜、「いちいちカウンター #10 第 2 弾！も～我慢できない！子どもを広告塔にするな！原発事故の加害者側の悪だくみを止めてみせるぞ！」で調査報告をライブ配信し、この事業は実施できないだろうが、今後も教育現場への介入は阻止していきたいと話しました。

しかし、経産省はターゲットを家庭に変えました。年度終わりの 2～3 月に 6 回の「親子で参加 福島の海を味わう料理教室」が急遽企画され、親子連れが参加したのです。取材した福島市のジャーナリスト、牧内昇平さんは講師の説明に「ALPS 処理水」や「海洋放出」という言葉が出てこないことにおかしさを感じたと『政経東北』2023 年 3 月号「経産省『海洋放出』PR 事業の実態」に書いています。このことを経産省担当者に問うと「安全ですよと大々的に宣伝するというよりも、常盤もの、三陸もの魅力自体をご理解いただければと思っています」と回答。経産省は昨年 12 月に「ALPS 処理水に係る国民理解醸成活動等事業」に税金 12 億円を投じ、新聞やラジオ、東京駅構内や通勤電車内を使って風評被害払拭キャンペーンを張りました。牧内記者は「CM で掲げたキャッチフレーズ『みんなで知ろう。考えよう。ALPS 処理水のこと』の精神はどこに行ってしまったのですか？」と経産省の矛盾を質しています。

岸田首相は今春から夏にかけて海洋放出を始めると発言し、国内外から反対の声が高まっています。3・11 直後から未処理の汚染水が流出しました。その量も汚染の酷さも今になっては分かりません。だからこそ「もうこれ以上、海を汚さないで！」との声を上げ続けましょう。それがせめてもの大人の責任です。

ル▶経済産業省 福島復興推進グループによって配布されたチラシ

親子で参加
福島の海を味わう
料理教室

福島県産の新鮮な漁獲物を使用して、福島の名産物とおいしい料理を学ぶ機会を開いたします。
「お子様もおいしく食べられる」をテーマに、ご家庭でも手軽に実践できるレシピを、お子様と一緒に楽しめるイベントです。ぜひご参加ください！

開催日時
2/18(土)・19(日)・25(土)・26(日)
3/4(土)・5(日)

参加費無料
完全予約制

※定員あり、事前申し込みが必要です。
※お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。

名2回 ●10:00受付開始:10:30-13:00 ●14:00受付開始:14:30-17:00

会場 いわき市中央卸売市場

この頃 思うこと等

医師・上岩出診療所院長 山崎知行

コロナ禍でなかなか会津へ出かけられていない日々が続き忸怩たる思いでいます。

子ども被ばく裁判、汚染水海洋投棄への取り組み、その他目白押しに大変な事態が進んでいます。そんな中、気になっている思いをお伝えしたいと思っています。

最近 NHK で巨大地震を題材にしたドラマを見ましたが、現実味を帯びてきた巨大地震発生時に原発のことが考えられていないことにあまりにも暢気すぎる思いをいたしました。考えても仕方ないとも思っているのでしょうか？

原子力規制委員会は 2 月 13 日原発の運転期間を今までの 40 年ルールを破棄して 60 年超の運転を可能とする新規制度を盛り込んだ炉規法改正案をなんと多数決で決めた。こんな中枢の会議でも意見が割れる時代になってきたという事か、前代未聞の事態だと思います。原発は安全ですという意見が多数を占めたら原発は安全になるという事でしょう。実は、安全策を実行するには経費が掛かりすぎる（逆に言うと今まで安く出来たのは安全対策の設備投資をこななかったから原発は安いと言ってきました）。もう電力会社自体が投資しにくいレベルになっていると思われます。電気料金が軒並み値上がりする状況になっているのに反対する消費者運動はニュースになってきません。

いまの岸田内閣は老朽化原発の再稼働、運転寿命の延長、次世代革新炉などの原発回帰政策に力を入れるそうですが、岸田総理自身がどの程度分かっているのかわからず、むしろ経産省の官僚の言いなりとなっているような感じです。次世代革新炉とは言っても従来の炉とほとんど変わらない、と京大複合原子力科学研究所研究員今中哲二さんの受け売りです。どれも本当だろうかといぶかしく思われる内容ばかりです。

3.11 甲状腺がん子ども基金の甲状腺がん当事者の内 6 人の方が東電に賠償請求訴訟を提起しています。現在原告は 7 人になっているようです。この当事者の内お一人の方の証言によると術後担当医説明の中で、患者本人がまだ聞いてもない段階でこの癌は東電の福島事故とは関係ないですと言われたことを証言なさっているようです。私が相談活動を始めて驚いたのはお母さん方が口をそろえて病院医師から

福島事故とは関係ないと言い切られ、“不安を持つなキャンペーン”とでも言うような事を証言しておられたことでした。これとまったく同じことがいまだに行われていることに愕然とします。医療の世界は閉鎖性の強い世界で、上の者の意向が現場の下々の医師たちを拘束しています。

福島事故当時、甲状腺エコー検査のセカンドオピニオンを求めて患者が県外の病院を訪れても対処しないようにと日本甲状腺学会から通達がなされました。当時の日本甲状腺学会の理事長は福島県放射線健康リスク管理アドバイザーを務めていた山下俊一長崎大教授でした。

多数決が支配しているところでは権威者権力者専門家たちが寄ってたかって不安を持つことそのものが悪だとのキャンペーンを強弁しまくる。これはパワハラだと思います。突然無理やりに環境汚染がやってきて強制的に被ばく者にさせられてしまった弱い立場の人たちは、この公害に対して物を申すことが出来なくなり、心配を口にすれば差別される事態が繰り返されていました。

放射線による健康被害の実態がなかなかわかりにくいです。チェルノブイリではベラルーシにある保養施設「希望 21」を支えるいくつかの市民団体がありますが、例えば「チェルノブイリ子ども基金」の機関紙「チェルノブイリの子どもたち」2022 年 10 月 21 日発行の希望 21 の報告には保養参加者の病名として腎臓がん、肝臓がん、目の腫瘍、脳腫瘍、後腹膜神経芽細胞腫、悪性リンパ腫、精巣癌、卵巣がん、リンパ管腫、繊維肉腫、出血性脈管炎、血小板減少症、心臓の異常、脊柱側弯症、慢性胃炎、気管支炎などの疾患名が記載されています。

が、これには発病率とかの数値的な記載はありません。このような報告は多くみられるけど残念ながら数値的記載が少ないです。チェルノブイリ報告の中で突出しているのはヤブロコフらがまとめた『チェルノブイリ被害の全貌』という大著があり、なんと岩波書店から邦訳が出版されています。これにはベラルーシ、ウクライナに分けて年代別に 10 万人当たりの疾患発生率が報告されています。これを見ると悪性腫瘍以外にもほとんど全身に及び、おそらくあらゆる種類の疾患が挙げられており、免疫異常が考えられますが、膨大すぎて取り付く島もない程です。しかし少なくとも 1986 年以降に生まれた方にはがんは見られていないことから子ども甲状腺がんが事故の影響であることは疑いない所でしょう。

う。なかなか素人にはわかりにくい所に持ってきて国や行政など原子カムラは意図的に確かな情報を隠して一般市民に知らせない工夫を凝らしています。

2021年7月に広島県の黒い雨訴訟にて地裁判決を維持する（つまり降雨地域をそれまでよりも広く認定する）被ばく者にとって有利な判決が出て、その後国や県は上告を見送り、判決が確定するという嬉しいニュースがありました。この判決を受けて22年4月1日から適用されている新基準に基づいて被爆者健康手帳を申請して却下された住民が複数おられて集団提訴することになったようです。被ばく者認定の要件として厚労省令として決めている11種類の障害を伴う疾患のリストがあります（原爆症認定基準）。これを見ると悪性新生物以外に本当に多くの疾病が被爆者認定の要件として公に認められているのです。しかし現場の広島では被ばく手帳申請に漏れる人が続出しているようです。この原爆症認定基準は悪性腫瘍以外の様々な疾患が関与していると思わせるもので、放射線が健康被害に及ぼすポイントをずらして一般人が判断に困るように操作しているように思われて仕方ありません。

| | |
|--------------------|---|
| 造血機能障害を伴う疾病 | 再生不良性貧血、鉄欠乏性貧血など |
| 肝臓機能障害を伴う疾病 | 肝硬変など |
| 細胞増殖機能障害を伴う疾病 | 悪性新生物など |
| 内分泌腺機能障害を伴う疾病 | 糖尿病、甲状腺機能低下症など |
| 脳血管障害を伴う疾病 | くも膜下出血、脳出血、脳梗塞など |
| 循環器機能障害を伴う疾病 | 高血圧症、心疾患、慢性虚血性心疾患 |
| 腎臓機能障害を伴う疾病 | 慢性腎炎、慢性腎不全など |
| 水晶体混濁による視機能障害を伴う疾病 | 白内障※白内障の手術歴がある場合（眼内レンズ挿入者）は、白内障にかかっているとみなします。 |
| 呼吸器機能障害を伴う疾病 | 肺気腫、慢性間質性肺炎、肺線維症など |
| 運動器機能障害を伴う疾病 | 変形性関節症、変形性脊椎症など |
| 潰瘍による消化器機能障害を伴う疾病 | 胃潰瘍、十二指腸潰瘍など |

しかし少なくとも福島県民健康調査のデータによれば約38万人の当時18歳以下の人たちの中から甲

状腺がんが300人を超えるレベルで発見されており国や県は過小評価に躍起になっているけれど、事実是不変なので今後の動きにも注視する必要があります。

原発を推進したい国や行政や財界その他の原子カムラの人たちは今だに原発は原爆と違ってあくまで平和利用だからと言って、健康被害を矮小化しようと躍起になっています。それ故、意図的に事実を知らせない方針が徹底しています。フクシマ核事故を起こしているにもかかわらず原発回帰に向かうのは電力源やエネルギー源の為にではなく、核兵器製造の技術的ポテンシャルを維持しておきたいという強烈な要求があるからだと思われます。

これは外務省が1969年に作成した「我が国の外交政策大綱」に明記されている事で、この政策は今でも生きています。これまでの非核三原則をいつでも政策変更して核武装が出来るように準備されているのが本質だと思います。いまの岸田内閣は国会討議もせずに閣議決定をしてしまうのが大得意の内閣ですから、大変危険な時代に突入していると思わなくてはならない気がしています。

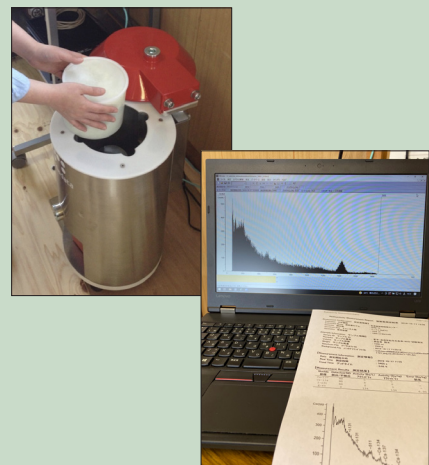
さて、このような状況の中では公の発表にはうさん臭さが常にあると批判的な目を光らせておくことが重要だと思います。そして現実に苦しんでいる人たちの裁判に寄り添っていく事も大切な活動です。次の原発事故をいつも意識して、自分で測定していく作業を続けて測定に慣れておくことですね。さらに被ばく関連の講演会に参加しておく。考えればきりがなくらいにやることは多いのですが、生活の中ではやはり野菜をしっかりと食事の中心に位置づけていただきたいです。

最近、原子力資料情報室が『原発事故が起きたらどうする?! 子どもを守るQ & A (¥300)』を発行しました。ぜひご一読ください。

食品の放射能検査をしてみませんか？

春野菜や山菜の美味しい季節になりました。山菜やジビエなどは、福島県だけではなく、広い範囲で放射能の影響が出ていることがわかっています。当センターでは、食品の放射能検査を無料で受け付けています。スウェーデン・ガンマテーター社製の放射能測定システム GDM-15 により、セシウム 134 とセシウム 137 を測定することができます。

山菜の他、自家栽培のお米や野菜、釣った魚、いつも購入している食品など、気になるものがありましたら放射能測定をし、数値で確認してみませんか？ 遠方にお住まいの方でも郵送対応しています。食材により、ご自身での下処理が必要な場合があります。ご希望の方は、まずメールにてご連絡ください。



■ 2022年12月～23年3月の感謝報告 ■

いつもセンターの動きをお憶えくださり、ありがとうございます。年会費および協賛金をお届けくださった方を記載しています。特記なき教会伝道所や教区などは、すべて「日本基督教団」です。万一記載漏れなどがありましたら、お手数ですがご連絡ください。2022年12月1日～2023年3月14日の受付分となります。(敬称略・到着順)

■個人

中山拓治、森田喜之、大木正人、長坂ゆり子、高戸佐和子、平 由美子、島上きく、市川 緑、高橋千沙子、阿部順子、成松三千子、市川真紀、島 香美、山下 光、西尾登美、佐々木咲野加、藤原秀徳、守川初穂、岡山友呼、藤井良三、古賀悦子、くずめよし、武田隆雄、大城江利子、西岡裕芳、ジェフリー・メンセンディーク、林 宏、小林順子、斉藤恵美子、チェイス洋子、中村真理子、井垣勝男、笛木直子、コイズミヒロアキ、松田光代、伊藤三和、武田総一郎、片岡自由

■団体

横浜地区婦人委員会、久ヶ原教会、千里聖愛教会、京都上賀茂教会、仙台北三番丁教会、桑名教会 マナの会、島原教会、日本ルーテル教団関東東地区女性の会、東洋英和女学院小学部母の会、百人町教会、泉北梅教会 婦人会、長崎銀屋町教会、震災支援グループ麦の会、東梅田教会 子どものきょうかい、代田教会、溝ノ口教会、北海道クリスチャンセンター、平塚中原教会、みどり保育園、岡山教会 子どもクリスマス、めぐみ子ども園、デイサービスセンター三愛、水沢教会、姫路野里キリスト教会、茅ヶ崎堤伝道所、松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 キリスト教センター、浦和友の会、南山教会 青年会、鶴川シオン幼稚園、西片町教会、河内松原教会、イエス団みどり野保育園、山梨英和中学校・高等学校、鹿児島加治屋町教会、日本聖公会東北教区婦人会、宮古教会、保内教会、山本愛泉保育園 花の会、喜多方教会、北光幼稚園、日本バプテスト宣教団 池田キリスト教会、中野桃園教会、熱田教会、いずみ教会、東所沢教会、高石教会、更生教会、久万カントリー・チャペル、日本キリスト教保育所同盟、聖光幼稚園、岡山教会、矢吹教会、元江別わかば幼稚園、東神戸教会、甘楽こひつじこども園、八代教会、須磨教会、下松教会、十日町教会、桑名教会、豊岡教会、富士見高原教会、松山教会、倉吉教会 附属めぐみ保育園、神戸栄光教会 社会委員会、柳井教会、桂教会 教会学校、相模翠ヶ丘幼稚園、高槻南平台教会、高槻教会、岩手キリスト教学園 認定こども園ひかりの子、浦安教会、紫野教会 教会学校、矯風会安中グループ、真駒内教会 子どもの教会、台湾国際日語教会、日本バプテスト女性連合、下ノ橋教会、伏見教会、紫野幼稚園、多度津教会、水口子どもの教会、福岡城東橋教会、世光教会、愛隣教会、神戸教会「放射能から子どものいのちを守る募金」、西千葉教会、全国教会婦人会連合、霊南坂教会、札幌第二友の会、安中教会、恵泉女学園大学 キリスト教センター、国分教会、帯広教会、関西学院 宗教活動委員会、仙台北教会、横浜港南台教会、いずみ愛泉教会 子どもの教会、経堂緑岡教会、津久見教会、武蔵野扶桑教会、桜美林教会、横浜英和学院、瀬戸

内教会かな保育園、岡崎教会こども会、美唄教会、神戸教会、同志社教会、宇部教会、西大和教会、農村伝道神学校、喜界教会、下落合教会、新潟教会、兵庫教区教育部女性委員会神戸Aブロック、中部教区愛知西地区、城崎教会、主恩教会 女性会、尼崎教会、美唄教会教会学校、甘楽教会CS、草津教会、No Nukes Goods Projects

■支援品

高戸佐和子、中村純子、太平こどもの家、松山学院高等学校、東洋英和福島の子ども支援プロジェクト「虹の橋募金」

■署名のご協力に感謝いたします

各団体から署名感謝の言葉が届いています。引き続きのご協力をお願いいたします。

■ 2023年1月～4月の活動報告と予定 ■

■1月

- 6日 センター開館
- 18日 東電刑事裁判判決
- 21日 小出裕章氏 講演会 三春町

■2月

- 1日 子ども脱被ばく裁判「子ども人権裁判」判決
- 2日 子ども脱被ばく裁判の会 会計監査
- 6日 動画配信「いちいちカウンター #10 子どもを広告塔に使うな！」片岡輝美
- 9日 柏崎刈羽原発差止訴訟 意見陳述 片岡輝美
- 12日 東電刑事裁判 判決集会 郡山市

■3月

- 11日 日本聖公会東日本大震災12周年 記念の祈りと講演会 片岡輝美
- 24日 来館：Far Flung Tin Can 7名
- 27日 子ども脱被ばく裁判 第6回控訴審
- 31日 今田かおる医師のお話し会と甲状腺エコー検査

■4月

- 2日 報告：ドイツ・イチモクの会 片岡輝美
- 3日 報告：マイノリティー宣教センター 片岡輝美
- 13日 汚染水の海洋放出に反対するグローバルアクション

■ ホームページをご覧ください ■

センターや関連する団体による様々な情報、MLで代表の発信する「福島原発核事故関連情報」、ホットスポットファインダーで測定した「放射能測定地図」等を掲載しています。センターNEWSのバックナンバーもご覧いただけます。

■ ML (メーリングリスト) に登録を ■

代表による「福島原発核事故関連情報」やセンター主催の学習会や催し等の案内を一齐配信しています。登録を希望される方は、info@aizu-center.org宛メールで、件名「ML登録希望」本文に氏名を記入して送信してください。

■ センター会員募集と年会費納入のお願い ■

10月より第12期に入りました。年会費の納入をお願いします。振込先 ゆうちょ銀行
記号 02270-2 番号 116030